

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業バース

健全な水と環境を次世代に引き継ぐ

連結売上高
330.0億円営業利益
40.0億円親会社株主帰属当期純
25.0億円

② 中長期の経営戦略

1. オペレーションサービス

コンサルティング、ソフトウェア、インスペクション等により、設計・建設・運転・保守を統合的にマネジメント。カスタマーサービスが市民に水上下水道を届ける

3. 地域事務所の強化

地域の問題を地域で考える観点から、地域事務所の体制と活動を強化。同時に地域事務所を支援する体制を構築

2. SmartPPP展開

官民連携事業のマネジメントに対応。情報共有・一元管理・業務支援・AI活用をプラットフォーム化したシステムでプロジェクト管理を最適化

4. プロアクティブ人材育成

人材確保、運営スキル習得、プロアクティブ意識醸成を推進。採用育成強化、競争力ある報酬制度、人材活用促進

③ 対処すべき課題

① 水インフラの老朽化対策

- ・ 計画的効率的な再構築と整備維持管理の統合化が急務
- ・ 老朽化起因の事故多発に対応した管理改革が必要
- ・ EPC・オペレーション・メンテナンス技術を統合的に強化

② 人口減少と水利用変化への対応

- ・ 下水温上昇による硫化水素発生と管路腐蝕リスク増大に対処
- ・ 市民のくらしと水利用に着目した事業運営が求められている
- ・ 自治体職員減少に伴いPPP事業の効率化が重要

③ 官民連携による運営効率化

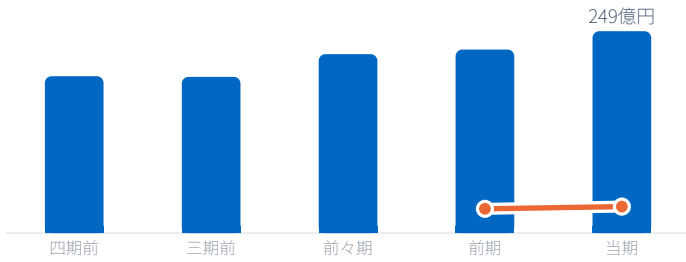
- ・ 複数自治体の事業一体化と集約・分散型システムの最適配置
- ・ 民間技術とノウハウを活用した効率化が不可欠
- ・ カスタマーサービス拡大と市民参画型事業の推進

面で使えるポイント

- ・ 2030年度までに売上330億円達成を目指す成長戦略Rev2024を推進中。水インフラの老朽化と災害激化への対応が急務
- ・ SmartPPPで官民連携事業をマネジメント。AIと情報共有をプラットフォーム化し、プロジェクト最適化を実現する取り組み
- ・ オペレーションカンパニーを実現。地域事務所の体制強化とプロアクティブ人材育成で、市民と一体となった水環境サービスを推進

証券コード 2325

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
249億円営業利益率
13.1%財務健康度
78点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 63.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
849万円

サービス業内 51位/524社

平均年齢
42.0歳

サービス業内 133位/527社

平均勤続
15.0年

サービス業内 32位/527社

女性管理職
2.4%

サービス業内 358位/371社

男性育休
86.6%

サービス業内 129位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

